

伊丹市安全・安心見守りネットワーク事業 さらなる安全・安心により「選ばれるまちへ」

伊丹市

～安全・安心見守りカメラ1,000台設置と社会インフラとしての多目的利用～

1,000台の「安全・安心見守りカメラ」設置を予定

- i. 通学路を中心とした地域防犯対策（1小学校区50台×17小学校区） 850台
 - ii. 中心市街地・河川等の災害監視、事件・事故等の多発箇所の監視対策 150台
- ▶ ネットワークを構築（有線・無線）

安全・安心見守りカメラ作動中



設置目的

- ▶ 事件・事故の抑止
- ▶ 事件・事故の早期解決（捜査機関への画像提供）
- ▶ 自然災害の現状把握と減災対策
- ▶ 行方不明者（子ども・認知症高齢者）の捜索
- ▶ 交通量調査など市の施策のための基礎資料調査

まち全体のセキュリティを高めて
「選ばれるまち」へ

社会インフラとしての特徴

- 約25km²の市内に1,000台という高密度で「安全・安心見守りカメラ」を設置→約160m四方に1台
- 有線もしくは無線の情報ネットワークが構築されている
- 新たな機能を付加するために別途電源を用意する必要がない

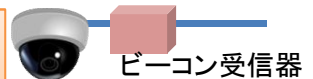
この特徴を活かし社会インフラとして
さらなる安全・安心の機能を付加

ビーコンを活用したさらなる安全・安心なまちづくり

ビーコン(Beacon)とは 小型の無線技術(Bluetooth)を活用した発信装置

メリット	<ul style="list-style-type: none"> • 発信機がコンパクト(500円硬貨程度の大きさ) • 電池寿命が長い(1年程度)※GPSは1週間程度 • 室内でも利用可能 • スマートフォンにも内蔵されている技術 • 距離を推測する機能がある • 比較的安価(数千円程度) • スマートフォンで一定の距離に来るとポップアップ・振動させることが可能 	
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> • ビーコン受信器がなければ位置情報がつかめない 	

1,000台の安全・安心見守りカメラと同時に、ビーコン受信器を設置することで、さらなる安全・安心なまちづくりのための社会インフラとして多目的利用が可能ではないか



ビーコン受信器

子ども
高齢者
見守り

- ・安全・安心見守りカメラでは、抑止力や犯罪発生時の早期解決に威力を発揮するが、見守り対象者の居場所はわからない
- ・団塊の世代が後期高齢となる2025年には認知症高齢者が700万人に激増することが推計されている

地域懇談会では、カメラを使った認知症高齢者の徘徊対策の要望

- ▶市内各所にビーコン受信器を整備し、ビーコン発信器を見守り対象者に所持させることで、対象者の居場所を把握することができ、保護者の安心が実現する

子どもの通学・塾・遊び

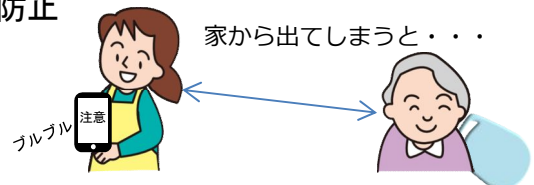
認知症高齢者の徘徊

障がい者の通所 等

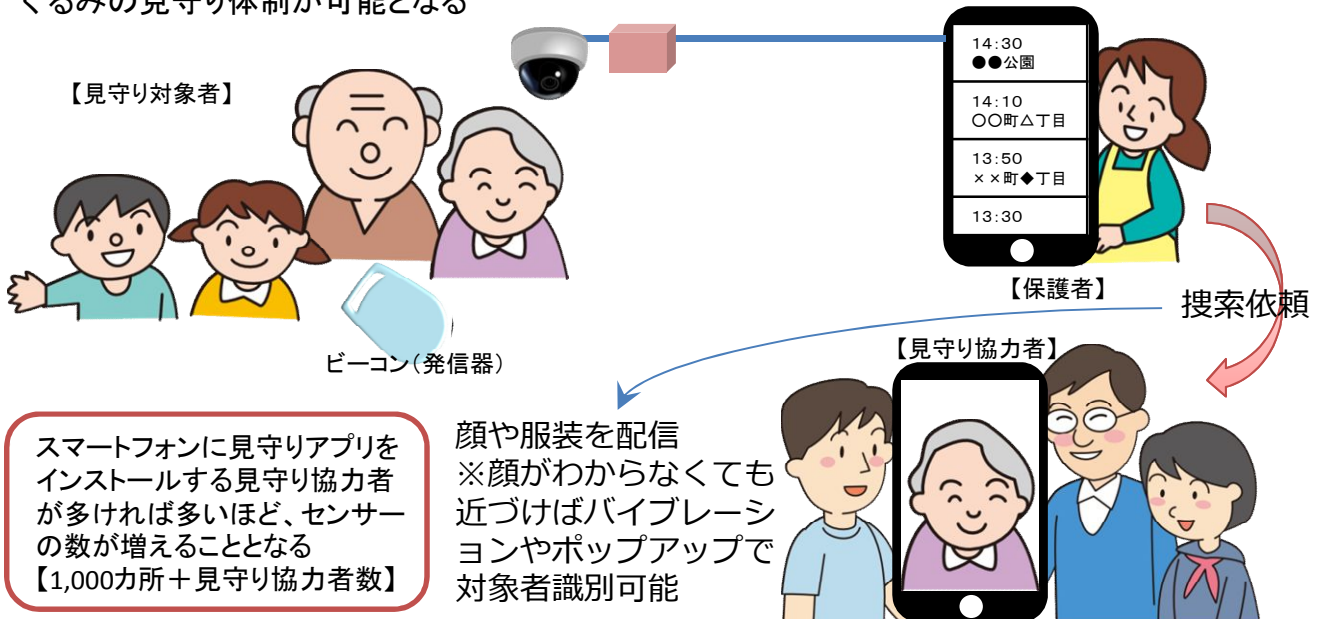
ビーコンによる時間と場所の特定により
安全・安心見守りカメラ画像確認が容易に

カメラとビーコンの
相乗効果で見守り実現

- ▶室内でも対象者の発信器が保護者のスマートフォンから設定する範囲(数十メートル)離れると、警告音とバイブレーションで通知する・・・迷子防止・徘徊防止



- ▶見守り協力者のスマートフォンに見守りアプリをインストールしてもらうことにより、見守りネットワーク(人的)を構築し、見守り対象者の写真等の情報や位置情報を提供したり、対象者が所持している発信器が協力者に近づくバイブレーションやポップアップで知らせることで、地域ぐるみの見守り体制が可能となる



小型・安価でGPS電波の届かない室内でも使用可能
⇒ビーコン技術とスマートフォンのセットでなければ実現しない機能

安全・安心見守りカメラやビーコン受信器等を新たな社会インフラとして、今後も多目的利用を検討

<お問い合わせ>

伊丹市 安全・安心施策推進班

〒664-8503 伊丹市千僧1-1

Tel 072-784-8120 Fax 072-780-3531